

No. 9	真間川流域水循環系再生構想																																																																																												
計画の概要	<p>①計画名、策定年月：真間川流域水循環系再生構想、平成16年3月</p> <p>②対象流域または対象行政区界：千葉県 真間川流域</p> <p>③策定の枠組み：策定主体 千葉県真間川改修事務所 検討主体 真間川流域水循環系再生構想検討委員会 検討期間 平成14年8月～平成16年3月</p> <p style="text-align: center;">「真間川流域水循環系再生構想検討委員会」委員名簿</p> <p style="text-align: right;">平成15年8月28日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">所 属 部 署</th> <th style="text-align: center;">氏 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">会 長</td> <td>千葉工業大学 工学部</td> <td style="text-align: center;">教授</td> <td>高 橋 彌</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アドバイザー</td> <td>福島大学</td> <td style="text-align: center;">教授</td> <td>虫 明 功 臣</td> </tr> <tr> <td rowspan="24" style="text-align: center; vertical-align: middle;">委 員</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">民間 団 体</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">市 川 市</td> <td>市川緑の市民フォーラム</td> <td>川 島 千 鶴 子</td> </tr> <tr> <td>真間川の桜並木を守る市民の会</td> <td>鳥 居 雪 子</td> </tr> <tr> <td>春木川をきれいにする連絡協議会</td> <td>箕 輪 一 男</td> </tr> <tr> <td>派川大柏川に清流をとりもどす会</td> <td>谷 島 重 夫</td> </tr> <tr> <td>大柏地区自治会連合会</td> <td>大 塚 功 一</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">松 戸 市</td> <td>河南環境美化の会</td> <td>高 橋 清</td> </tr> <tr> <td>まつど雨水の会</td> <td>磯 村 光 良</td> </tr> <tr> <td>鎌ヶ谷市</td> <td>かわ・水・みどり</td> <td>倉 田 智 子</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">千 葉 県</td> <td>環境生活部</td> <td>水質保全課 課長</td> <td>守 敏 男</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">土 木 部</td> <td>河川海岸課 課長</td> <td>内 藤 公 夫</td> </tr> <tr> <td>都市河川課 課長</td> <td>市 川 愼 一</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">都 市 部</td> <td>都市政策課 課長</td> <td>依 田 茂</td> </tr> <tr> <td>下水道計画課 課長</td> <td>渡 辺 道 夫</td> </tr> <tr> <td>下水道建設課 課長</td> <td>松 本 良 一</td> </tr> <tr> <td>教育庁企画管理部</td> <td>施 設 課 課長</td> <td>澤 村 保 夫</td> </tr> <tr> <td>葛南土木事務所</td> <td>所 長</td> <td>池 生 英 知</td> </tr> <tr> <td>東葛飾土木事務所</td> <td>所 長</td> <td>綾 木 修 二</td> </tr> <tr> <td>真間川改修事務所</td> <td>所 長</td> <td>鈴 木 茂 樹</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">市 川 市</td> <td>環境清掃部</td> <td>部 長</td> <td>鈴 木 孝 男</td> </tr> <tr> <td>水と緑の部</td> <td>部 長</td> <td>中 山 千 代 和</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">船 橋 市</td> <td>建設局 下水道部</td> <td>部 長</td> <td>野 村 武 明</td> </tr> <tr> <td>環 境 部</td> <td>部 長</td> <td>三 橋 勝 吾</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">松 戸 市</td> <td>環境担当部</td> <td>部 長</td> <td>湯 浅 武 志</td> </tr> <tr> <td>建設担当部</td> <td>部 長</td> <td>及 川 忠</td> </tr> <tr> <td>都市緑花担当部</td> <td>部 長</td> <td>早 川 純 一</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">鎌 ヶ 谷 市</td> <td>市 民 部</td> <td>部 長</td> <td>久 野 義 春</td> </tr> <tr> <td>土 木 部</td> <td>部 長</td> <td>飯 塚 順 一</td> </tr> </tbody> </table>	所 属 部 署			氏 名	会 長	千葉工業大学 工学部	教授	高 橋 彌	アドバイザー	福島大学	教授	虫 明 功 臣	委 員	民間 団 体	市 川 市	市川緑の市民フォーラム	川 島 千 鶴 子	真間川の桜並木を守る市民の会	鳥 居 雪 子	春木川をきれいにする連絡協議会	箕 輪 一 男	派川大柏川に清流をとりもどす会	谷 島 重 夫	大柏地区自治会連合会	大 塚 功 一	松 戸 市	河南環境美化の会	高 橋 清	まつど雨水の会	磯 村 光 良	鎌ヶ谷市	かわ・水・みどり	倉 田 智 子	千 葉 県	環境生活部	水質保全課 課長	守 敏 男	土 木 部	河川海岸課 課長	内 藤 公 夫	都市河川課 課長	市 川 愼 一	都 市 部	都市政策課 課長	依 田 茂	下水道計画課 課長	渡 辺 道 夫	下水道建設課 課長	松 本 良 一	教育庁企画管理部	施 設 課 課長	澤 村 保 夫	葛南土木事務所	所 長	池 生 英 知	東葛飾土木事務所	所 長	綾 木 修 二	真間川改修事務所	所 長	鈴 木 茂 樹	市 川 市	環境清掃部	部 長	鈴 木 孝 男	水と緑の部	部 長	中 山 千 代 和	船 橋 市	建設局 下水道部	部 長	野 村 武 明	環 境 部	部 長	三 橋 勝 吾	松 戸 市	環境担当部	部 長	湯 浅 武 志	建設担当部	部 長	及 川 忠	都市緑花担当部	部 長	早 川 純 一	鎌 ヶ 谷 市	市 民 部	部 長	久 野 義 春	土 木 部	部 長	飯 塚 順 一
所 属 部 署			氏 名																																																																																										
会 長	千葉工業大学 工学部	教授	高 橋 彌																																																																																										
アドバイザー	福島大学	教授	虫 明 功 臣																																																																																										
委 員	民間 団 体	市 川 市	市川緑の市民フォーラム	川 島 千 鶴 子																																																																																									
			真間川の桜並木を守る市民の会	鳥 居 雪 子																																																																																									
			春木川をきれいにする連絡協議会	箕 輪 一 男																																																																																									
			派川大柏川に清流をとりもどす会	谷 島 重 夫																																																																																									
			大柏地区自治会連合会	大 塚 功 一																																																																																									
		松 戸 市	河南環境美化の会	高 橋 清																																																																																									
			まつど雨水の会	磯 村 光 良																																																																																									
			鎌ヶ谷市	かわ・水・みどり	倉 田 智 子																																																																																								
		千 葉 県	環境生活部	水質保全課 課長	守 敏 男																																																																																								
			土 木 部	河川海岸課 課長	内 藤 公 夫																																																																																								
	都市河川課 課長			市 川 愼 一																																																																																									
	都 市 部		都市政策課 課長	依 田 茂																																																																																									
			下水道計画課 課長	渡 辺 道 夫																																																																																									
			下水道建設課 課長	松 本 良 一																																																																																									
	教育庁企画管理部		施 設 課 課長	澤 村 保 夫																																																																																									
	葛南土木事務所		所 長	池 生 英 知																																																																																									
	東葛飾土木事務所		所 長	綾 木 修 二																																																																																									
	真間川改修事務所		所 長	鈴 木 茂 樹																																																																																									
	市 川 市	環境清掃部	部 長	鈴 木 孝 男																																																																																									
		水と緑の部	部 長	中 山 千 代 和																																																																																									
	船 橋 市	建設局 下水道部	部 長	野 村 武 明																																																																																									
		環 境 部	部 長	三 橋 勝 吾																																																																																									
	松 戸 市	環境担当部	部 長	湯 浅 武 志																																																																																									
		建設担当部	部 長	及 川 忠																																																																																									
都市緑花担当部		部 長	早 川 純 一																																																																																										
鎌 ヶ 谷 市	市 民 部	部 長	久 野 義 春																																																																																										
	土 木 部	部 長	飯 塚 順 一																																																																																										

策定の背景、目的

①背景

『真間川流域は、千葉県の北西部に位置し、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市の4市にまたがっています。昭和30年頃まで、台地や谷地の斜面樹林、広大な水田地帯、砂州の松林などの景観の中で、湧水や池、水路が至るところに見られ、清流が流れ、川は流域住民の生活と深く関わり合っていました。

しかし、首都東京の通勤圏内の一角として、昭和30年頃から市街化が急激に進み、雨を浸透させたり貯えておく機能が低下したことなどから、湧水が枯渇したり、浸水被害が発生しやすくなったりしました。また、家庭からの雑排水が川に流されるために、川の水が汚れたり、川の水を利用したりすることが出来なくなりました。

これらの現象は、「地球上の水が、海や陸から蒸発して雲となり、雨や雪となって再び地上に降り、地下水や川の水になって再び海に戻る」というような、本来あった水の循環が市街化により大きく変化したことが原因といえます。そのため、これまでの暮らし方を見直して、貴重な自然の恵みである雨水を貯めたり、地面にしみ込ませることにより、地下水の涵養や湧水の復活、水害の軽減に役立てたり、雨水を新たな資源として利用するなど、人と水とのより良い関係を取り込んだ水循環系のしくみを再生することが求められるようになりました。

真間川流域のような都市域における水循環系は、都市の構造及び人々の生活活動そのものと大きな関わり合いを持っています。このため、健全な水循環系の再生に向けては、河川や下水道など分野別に個別の施策を行うのではなく、多くの行政部局や流域住民、事業者が水循環系の観点から連携して、総合的に施策を推進する必要があります。

このため、千葉県では、「水循環系を再生する事により、清らかで豊かな水が流れ、浸水被害のない、安全で安心な川づくり及び地域づくりの検討」を目的に、平成14年8月に学識経験者、民間団体、千葉県及び関係市の関連部局からなる『真間川流域水循環系再生構想検討委員会』を発足させました。

委員会では、発足以来4回にわたり、真間川流域の水循環系再生の基本的な方向と必要な施策について議論してきました。このたび、その成果をとりまとめ「真間川流域水循環系再生構想」を策定しました。

今後、本構想を基に具体的な行動計画を策定し、行政、流域住民、事業者が一体となり真間川流域の水循環系再生に努力し、一步一步望ましい真間川流域に近づけていくことを切に願うものであります。』

②計画の基本理念・目標

基本理念

これまでの暮らし方を見直し、自然との共生を目指した都市生活を営むために、人と水とのより良い関係 **「雨水を貯める、利用する、浸透させる」**を取り込んだ水循環系のしくみを構築する。

③計画期間

中期計画（平成32年頃） 長期計画（平成62年頃）

現況把握 流域（行政区域）の現況

流域図および流域の概要について、図に示す。

流域図

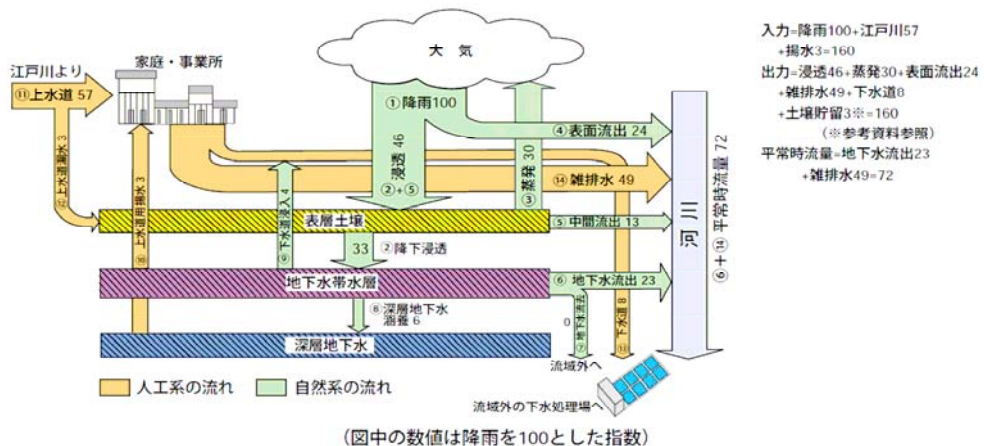


流域の概要

項目		諸元		
流域面積		65.60 km ²		
河川	指定区間延長	真間川	国分川	大柏川
		春木川	派川大柏川	
	国分川分水路	3.36km		
流路延長	真間川	国分川	大柏川	
	春木川	派川大柏川		
	国分川分水路	3.36km		
流域人口	447,600人（平成11年10月1日現在）			
人口密度	6,820人/km ² （平成11年10月1日現在）			
市街化率	65.3%（平成10年8月現在※）			
流域関係市	市川市・船橋市・松戸市・鎌ヶ谷市（4市）			

※国土地理院発行の最新地形図より図上計測した数値をもとに表示

1999年時点の水収支図を示す。



<p>課題</p>	<p>①減りゆく林地や畑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去から現在までの市街化に伴い、谷津田や森林等といった自然地の面積は減少しつつある。 <p>②減りゆく河川の流量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常時の河川流量のうち、水質が良好な地下水から河川へ流れ出てくる量は、現在は過去に比べ約20%少なくなっている。 ・過去と比べて湧水地点が減少している。 <p>③河川水質の汚れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成3年3月には松戸市が、平成4年3月には市川市、鎌ヶ谷市、船橋市が千葉県における「生活排水対策重点地域」の指定を受けた。 ・支川の国分川や大柏川といった流域上流部のBODは15以上の値を示し、環境基準値（E類型、BOD10mg/L）を大きく上回り極めて汚れている。 <p>④増加する水の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真間川流域における水の使用量は、人口の増加に伴い、過去に比べ現在はかなり増加し、将来も2020年頃までは増加すると予測される。 <p>⑤繰り返す洪水の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も市街化の進行に伴う不浸透域の拡大や流域の保水・遊水機能の低下、最近多発する集中豪雨により雨水が一気に河川へ流出しやすくなり、将来は、洪水流出量の増大に伴う水害の発生が心配される。
<p>対策の方針</p>	<p>対策の基本方針</p> <p>基本方針については以下の図のとおり。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[真間川流域における水循環系の再生] --- B[基本方針] B --- C[①自然環境の保全] B --- D[②きれいでうるおいある流れの創出] B --- E[③水資源の有効利用] B --- F[④浸水被害の軽減] </pre> </div>

具体的対策の概要

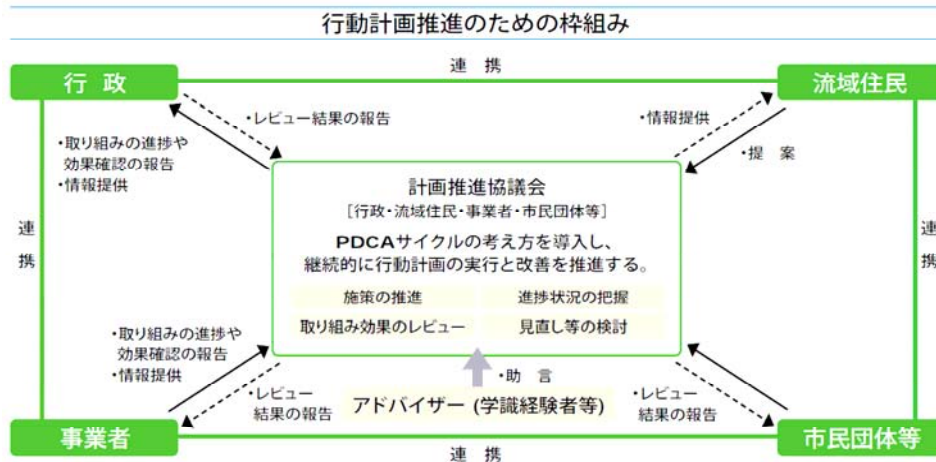
① 具体的対策の概要

基本的な取り組みと各取り組みに対する施策の一覧及びそれぞれ期待される主な効果をとりにまとめたものが下表である。

基本的な取り組みの一覧及び期待される効果		
基本的な取り組み	取り組みに対する施策	期待される主な効果
みどりを守り育てる	緑地の保全・回復	流域の保水機能の回復 洪水被害の軽減 河川水質の改善
	公園の整備	平常時河川流量の増加 湧水・地下水の保全・再生 動植物の生息場所の確保 蒸発散の促進
雨水を貯める、利用する、浸透させる	雨水貯留浸透施設の普及 (適切な維持管理を含む)	流域の保水機能の回復 洪水被害の軽減 平常時河川流量の増加 湧水・地下水の保全・再生 河川水質の改善
汚れのもとを減らす	家庭等での汚濁負荷削減	河川へ流れ込む汚濁負荷量の削減
汚れた水をきれいにする	河川の直接浄化	河川水質の改善
きれいな水を川に流す	合併処理浄化槽の普及	河川水質の改善 河川へ流れ込む汚濁負荷量の削減 平常時河川流量の増加
	下水道の建設	
	下水管への接続促進	
	下水高度処理水の有効利用	
水を大切に使う	雨水利用施設の普及	上水道の給水量節減 非常用水源の確保
	家庭・事業所・公共施設等での節水	
安全で自然豊かな川づくり	水辺における自然の保全・再生	洪水被害の軽減 動植物の生息場所の確保 親水性の向上 河川水質の改善 蒸発散の促進
	河道改修 (自然環境に配慮した整備)	
	調節池の建設 (自然環境に配慮した整備)	

② 関係主体の連携（推進体制）

流域住民、事業者、市民団体等及び行政部局の連携については、以下のように定める。



策定時の住民の関わり

委員会への参加

真間川流域水循環系再生構想検討委員会の委員として、数グループの民間団体の代表が参加している。